個人4

受付	令和 6年 6月 3日 (午前)・午後 9時 00分

一般質問（代表（個人）通告書

令和６年６月３日

尾張旭市議会議長　殿

氏　名　いとう伸一

尾張旭市議会会議規則第５０条第１項の規定により6月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1　質問事項　　3　件

2　質問方法

	１回目　一括質問、一括答弁 再質問以降　質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	１回目から　質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑　選択する方法に○を付す。

尾張旭市議会 受付 6.6.3 第一号

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　1	がん検診について
要旨	厚生労働省が2023年に公表した2022年の人口動態統計から、日本人の死亡原因で一番多いのが24.6%の悪性新生物（がん）である。 医学の進歩で、以前よりも治る病気になったが、早期発見に勝る治療方法は無いとも言える。 がんと向き合う事は健康都市尾張旭市としても大切だと考え、がん検診の実施状況について伺う。 （１）本市が実施するがん検診の種類と対象者について （２）がん検診の対象者数と受診者数について （３）本市の検診受診者の傾向について （４）がん検診受診後の「要精密検査」への対応について （５）今後、がん検診の更なる取組について

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　2	本市の総合計画の特徴について
要旨	本市は就業者の６割以上が市外で働く住宅都市として発展してきた。 本市は観光都市ではなく、製造や情報の特定の産業に特化した都市でもない。民間有識者でつくる「人口戦略会議」は４月24日に、「消滅可能性」のある市町村は東京圏以外では46％と公表した。 以前に増して、住み続けたい、移り住みたい自治体になることが必要になっている。選ばれるためには、将来のまちづくりにおいて、本市ならではの魅力的な特徴が大切であると考える。 本市のまちづくりの指針となる総合計画の特徴について伺う。 （１）総合計画の特徴について （２）総合計画で特に力を入れる取組について（大きな３つ） （３）計画の達成度合いの評価方法について

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　いとう　伸一

質　問　事　項 No.　3	本市の内部統制について
要 旨	令和５年１月に発覚した元職員による公金詐取という不祥事を受け、令和６年１月26日付けの報告書「職員の賠償責任に関する監査の結果について」に記載の監査委員の意見によると、「『内部統制制度の導入については、早い機会に検討を進めるべきである』また『内部統制制度の導入により、市政への信頼回復に努めることが必要である。』」とある。 そこで、本市の内部統制制度への取組について伺う。 （１）内部統制制度への取組状況について ア　国が定める地方自治法、及び愛知県の取組について イ　本市の状況について （２）本市が重点的に取り組む内部統制について （３）内部統制の組織について （４）現状の各部署の業務手順書について （５）業務のリスクの把握について （６）業務監査計画について

※　申し合わせ事項に留意する。